

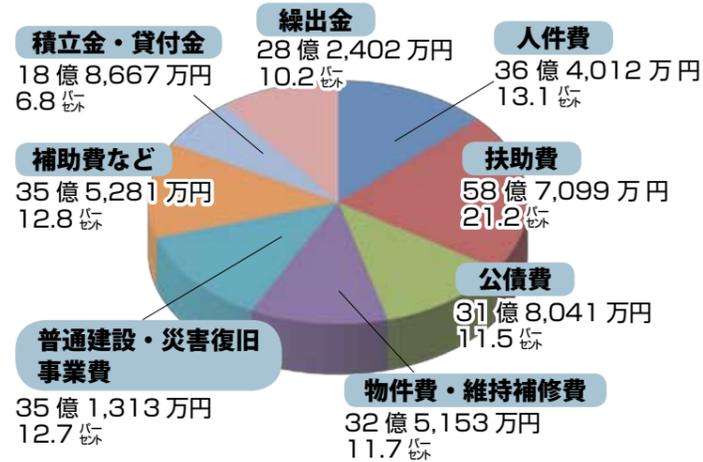
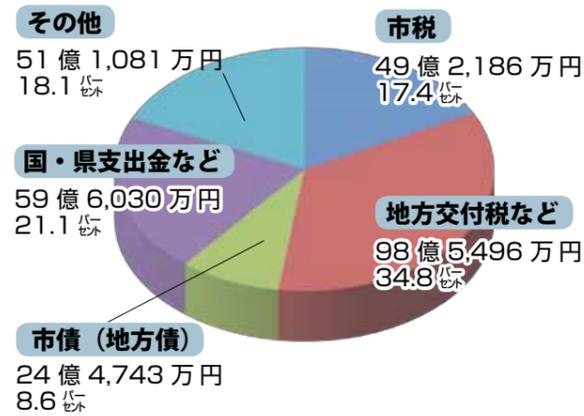
平成30年度決算報告

小林市の平成30年度の決算がまとまりました。どのような収入があり、どのように使われたのか。そして、小林市の財政状況はどうなっているのか。歳入歳出の決算額をさまざまな比率とともにお知らせします。

●問：財政課Tel 23-1114

歳入平成30年度は282億9,536万円

歳出平成30年度は277億1,968万円



健全化判断比率を 読み解く

実質赤字比率 (単位:%)

一般会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率

H 29	H 30	早期健全化基準
—	—	12.84

※赤字ではないため、「—」で表示

連結実質赤字比率 (単位:%)

全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率

H 29	H 30	早期健全化基準
—	—	17.84

※赤字ではないため、「—」で表示

実質公債費比率 (単位:%)

借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度を見る比率

H 29	H 30	早期健全化基準
10.5	10.7	25.0

将来負担比率 (単位:%)

市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る比率

H 29	H 30	早期健全化基準
108.6	111.9	350.0

平成30年度決算は、どの比率も早期健全化基準内であるため、健全性は維持されています。

会計別に見る 決算状況

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	28,295,363	27,719,677	575,686
国民健康保険事業	6,705,333	6,478,675	226,658
物品購入	279,564	279,564	0
特別会計			
農業集落排水事業	231,084	220,045	11,039
下水道事業	695,629	685,196	10,433
西諸地域介護認定審査事業	33,530	29,182	4,348
介護保険事業	6,083,383	5,873,518	209,865
後期高齢者医療事業	1,291,388	1,290,205	1,183
西諸地区いじめ問題対策専門家委員会	175	74	101
企業会計			
水道事業	855,342	843,458	11,884
病院事業	2,455,429	2,524,511	△69,082

歳入と歳出の差引

収支の前年度比較 (一般会計)

(単位:千円、%)

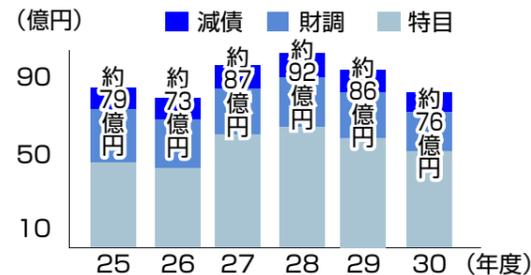
区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額
H30	28,295,363	27,719,677	575,686
H29	31,316,311	30,688,318	627,993
増減額	△3,020,948	△2,968,641	△52,307
増減率	△9.6	△9.7	△8.3

歳入総額は282億9,536万円の前年度と比較するとマイナス9.6%、歳出総額は277億1,968万円の前年度と比較するとマイナス9.7%となり、決算額全体は減少しています。

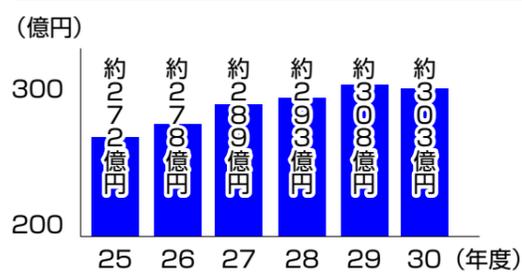
市の財政を家計に例えると

市の財政	家計
収入	
・市税	・月収 (給料など)
・地方交付税	・親からの仕送り
支出	
・人件費	・食費
・補助費	・医療費など
・公債費	・ローン返済など
・物件費	・光熱費・家賃

基金残高の推移



地方債残高の推移



歳入の状況
歳入には、市以外に頼る収入(依存財源)と市独自の収入(自主財源)があります。依存財源は主に、地方交付税や国県からの補助金、地方債などがあります。30年度は、約183億円で全体の64.5%でした。一方、自主財源は、主に市税や、寄付金などです。30年度は、約100億円で全体の35.5%でした。今後も自主財源の確保に努めます。

歳出の状況
歳出は、義務的経費、投資的経費、その他の経費に分類されます。義務的経費は、毎

年必ず支払う人件費や扶助費、公債費など、支出が義務付けられ、削減することが難しいものがあります。30年度は公債費は減少しましたが、人件費及び扶助費が増加し、微増となりました。投資的経費は、道路の整備や施設の建設を行うためのもので、普通建設事業費や災害復旧事業費のことで、30年度は災害発生件数の増加により、災害復旧事業費は増加しました。一方、29年度に新庁舎建設事業が完了したため、普通建設事業費は前年度比マイナス49.6%と大幅に減少しました。

地方債残高と基金残高
地方債の残高は、新たな借入を償還額の範囲内に抑制したため約5億円少なくなりました。借り入れの際は、返済分が地方交付税で手当てされるものを優先し、将来世代の負担の軽減に努めています。一方、家計に例えれば貯金にあたる基金の残高は、約76億円。前年度と比較して約10億円減りました。

健全財政の継続に向けて
第2次小林市総合計画の実現のため、着実な行政改革を進め、健全で持続可能な財政基盤の確立を目指します。

もっと「財政」を理解する

財政にまつわる用語を解説します

【地方交付税】
地域による経済格差を埋めるために国が地方に配分するお金。普通交付税と特別交付税があり、どちらも使用に制限はありません。

【地方債】
借金のこと。今税金を払っている人だけではなく、将来利用する人にも負担してもらおうという考え方に基づいています。一般財源が少なくても、大きな事業に着手することができます。

【財調 (財政調整基金)】
災害復旧など臨時、異常の財政需要の財源に充てるための基金。

【減債 (減債基金)】
地方債の償還に必要な財源を確保するための基金。

【特目 (特定目的基金)】
利用目的を限定している基金。目的外の分野には使えません。